

令和6年度

10月

園だより



文京区立根津幼稚園

秋の自然を感じながら

園長 小島 喜代美

朝夕の風によやく秋を感じる頃となりました。今年は9月になっても厳しい残暑が続いていましたが、「暑さ寒さも彼岸まで」と言われているように、彼岸後には急激に肌寒くなり、寒暖差での体調管理が心配です。

さて、自然に恵まれた根津幼稚園の園庭(校庭)には、今年は、たくさんのトンボが飛んできました。4歳児はな組、3歳児りす組の子どもたちは、トンボを追い掛けて広い園庭を走り回っています。担任は、子どもたちの興味を生かし、虫取りができるように、透明なポリ袋と新聞紙やカラー布ガムテープなどを使って虫網を作りました。子どもたちは虫網を持ち、満面の笑みを浮かべて、園庭中を走り回る姿が見られました。

3歳児りす組、4歳児はな組、5歳児ほし組では、それぞれ、年齢・発達に応じた材料や作り方でトンボを作って保育室に飾りました。また、5歳児ほし組、4歳児はな組、3歳児りす組では、自分たちの遊びの中で、カブトムシやクワガタムシ、セミなど、夏の虫作りも楽しんでいました。

夏休み中に「捕まえたんだよ」との声も聞かれ、心に残った経験が遊びの中で再現されています。

根津幼稚園では10月5日(土)に運動会を開催します。子どもたちは伸び伸びと体を動かして遊ぶことが大好きです。ただし、例年以上に厳しい残暑が続いていたため、園庭(校庭)ではなく、体育館や遊戯室、保育室などで体を動かして遊ぶ機会をつくってきました。根津小学校との併設であり、恵まれた環境であることに感謝しています。

特に、5歳児ほし組は、小学校の給食の時間に校庭や体育館でリレーやバレーに取り組んできました。リレーでは、初めはトラックのコーナーの切り方もぎこちなかった子どもたち。日々、経験を重ねていくうちに、体を傾けながら風を切って走る姿へと変化してきました。7月、9月にコーディネーショントレーニングで様々な動きを経験したことが生きているように感じます。また、「ほし組になったらできる」と昨年度から憧れていたバレー。しっかり持って、友達と協力することでいろいろと変化していくバレーの世界を味わうことができます。いつもは外から見ているだけのバレーも、子どもたちと一緒に中に入ってみるとカラフルで素敵な世界でした。子どもたちは大歓声。さて、当日はどのような技が見られるでしょうか。

ご期待ください。

そして、ほし組は、司会や係の仕事も行います。大勢の方の前で、ドキドキしながら役割を果たそうとする姿が、その後の大きな自信につながってほしいと思います。ほし組の様子に興味津々なはな組、りす組は、「がんばれー」と応援する姿が見られます。憧れを感じるとともに「次は自分たちもやってみよう」との意欲が育まれていきます。

気象状況に左右されながらの取り組みです。当日の会場も、校庭か体育館かわからない状況ですが、子どもたちが伸び伸びと演技をする姿をご覧ください。

どうぞよろしくお願いいたします。



4歳児 ポップコーンのところに大きなトンボが来たよ



4歳児 自分の好きな虫を作ったよ



5歳児 バレーの素敵な空間



5歳児 友達と協力してバレーを楽しんでいます